

# 福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例(飲酒運転撲滅条例)概要

## 県民の責務等

- ・アルコールの影響がなくなるまで、いかなる理由があっても車を運転してはいけません。
- ・家族や知人が飲酒運転を行うおそれがあるときは、その防止に努めましょう。
- ・飲酒運転を見かけたときは、警察官(110番)に通報しなければなりません。



### 飲酒運転で検挙・警告された場合

#### ・基準値※未満で警告(1回目)

飲酒行動に関する指導を受けるよう努めなければなりません。  
※呼気中のアルコール濃度が0.15mg/L以上

#### ・検挙(1回目)または警告(2回目)

アルコール依存症に関する診察又は飲酒行動に関する指導を受けなければなりません。

#### ・5年以内に再び検挙か警告

アルコール依存症に関する受診が命じられます(命令に従わない場合は5万円以下の過料)。

検挙・警告の取扱いの詳細はこちらのQRコードから(県HP)



## 事業者の責務等

- ・業務上車両の運転が必要な場合は、運転者が酒気を帯びていないことを確認しましょう。
- ・特定事業者※や、飲食店がテナントに入っているビル等の所有者、参加者が飲酒をする可能性がある多人数のイベントの主催者は、飲酒運転撲滅に関するポスター等の啓発文書を掲示しましょう。
- ・飲食店は、来店者の飲酒運転を防止するため、来店者に車両利用の有無を確認し、運転代行の紹介等を行いましょう。また、運転者(ハンドルキーパー)には、酒類を提供しないようにしましょう。
- ・特定事業者※やイベント主催者、タクシー事業者、自動車運転代行業者は、飲酒運転をしようとするのをやめさせましょう。また、飲酒運転を見かけたときは、警察官(110番)に通報しなければなりません。
- ・特定事業者※とタクシー事業者・自動車運転代行業者は、その従業者などに対して飲酒運転の通報訓練を実施しましょう。

※酒類を提供する飲食店の営業者、酒類販売業者、駐車場の所有者・管理者



公安委員会から通勤・通学先に通知

通知を受けた事業者は再発防止のため、研修、指導等を行わなければなりません。

### 飲食店 来店者が飲酒運転で検挙された場合

1年以内に再度来店者が検挙され、公安委員会から飲酒運転防止の取組を指示されたにもかかわらず、その取組を怠ったとき

店名等の公表、指示書の店内掲示命令

掲示しない場合、5万円以下の過料

## 飲酒運転は犯罪です！道路交通法による罰則もあります

### 酒酔い運転



### 罰則

5年以下の懲役又は100万円以下の罰金

### 行政処分

運転免許取消

### 酒気帯び運転



### 罰則

3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

### 行政処分

運転免許取消  
または免許停止(90日間)

さらに、人を死傷させた場合は「自動車運転死傷処罰法」により、最長で20年の有期懲役が科される場合があります。

問合せ先：交通事故をなくす福岡県県民運動本部（福岡県庁 人づくり・県民生活部 生活安全課内） ☎092-643-3167

福岡県飲酒運転撲滅

検索

毎月25日は、  
飲酒運転撲滅  
の日です。



身近な人が飲酒運転しないか心配…という方

## 飲酒運転相談窓口

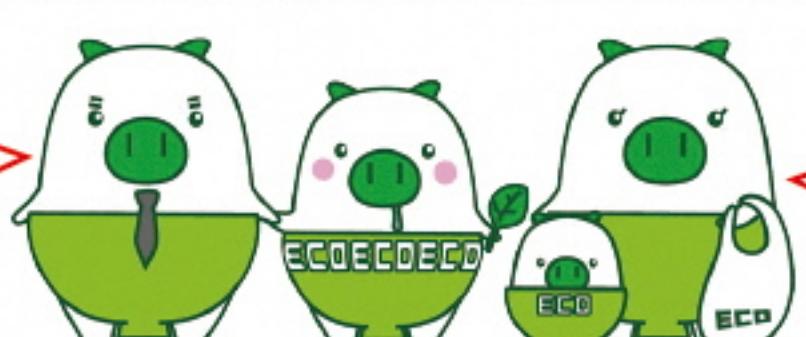
☎092-609-9110

月～金曜日(祝日、年末年始を除く。)10時～16時



飲酒運転をしてしまった人、身近な人の飲酒運転に悩んでいる人などの相談に親身に応じます。お気軽にご相談ください。(相談無料)

みんなの力で  
飲酒運転を  
なくしましょう！



毎月25日は、  
飲酒運転撲滅  
の日です。

令和3年8月発行